



▲新しく隊員となった辻田さん夫婦。沼島地区での協力隊員は計5人となりました

沼島地域おこし協力隊に新隊員

新しく沼島の地域おこし協力隊に辻田光俊さん、弥生さん夫婦が着任しました。2人は大阪の会社で働いていた元同僚で隊員として採用決定後の今年1月に結婚。沼島の歴史や自然、人の温かさに魅せられて移住を決めた2人は、隊員として地域のひとと協力しながら島の魅力を発信し、若い人にも興味を持ってもらえる場所づくりなど、沼島の活性化に貢献したいと話しています。



▲関係者約30人が出席して開かれた「うず潮を世界遺産にする淡路島民の会」発足会

うず潮を世界遺産へ 島民の会が発足



▲春の季節、見どころを迎える「うず潮」

「うず潮を世界遺産にする淡路島民の会」の発足会が3月16日、福良のなないろ館で行われました。民間の支援組織を結成して淡路島の人たちや出身者に広く呼びかけ、世界遺産登録への機運と運動をさらに盛り上げるものです。

南あわじ米粉料理コンテストの結果発表

市内で作られた米粉の利用拡大による米の新たな需要拡大を目的とした「南あわじ米粉料理コンテスト」が開催されました。料理部門、菓子部門の2つの部門にそれぞれ22作品、12作品の応募がありました。三原公民館で3月2日、6人の審査員によって審査が行われ、各部門の受賞作品を決定。受賞者に表彰状と市内の特産品が贈られました。※受賞者は下記のとおりです

- 【料理部門】(順不同・敬称略)
 - ◆最高金賞受賞者 河野 郁子 (明石市)
 - ◆金賞受賞者 三宅千栄子 (阿那賀)
 - 横山 稚 (神戸市)
 - 堀川ソトミ (八木)
 - 【菓子部門】(順不同・敬称略)
 - ◆最高金賞受賞者 平山 昌孝 (加東市)
 - ◆金賞受賞者 田辺 博子 (松帆)
 - 岡田 善美 (松帆)
 - 出田 洋子 (阿万)



▲米粉料理の審査を行う審査員



▲赤ちゃんを見守るように抱く母親のコアラ (2月24日撮影)

「コアラの赤ちゃん誕生」

2頭の間には昨年、雄の「そら」が誕生しています。今回生まれ た赤ちゃんも雄で、目元もお兄ちゃんによく似ているとのこと。これから次第に母親のおなかの袋から出てかわいいう姿を見せる時間も長くなります。同施設では、赤ちゃんの愛称を募集するとともに、赤ちゃん誕生を記念したイベントなどを開催していきたいと話しています。

▲愛称募集については広報最終28ページまたは市のホームページをご覧ください。

施政方針

～さらなる成長・進化を目指して～ 飛躍する南あわじ

第53回市議会定例会が2月25日に招集され、中田勝久市長が平成26年度施政方針と予算案を提案しました。その概要をお知らせします。

なお、施政方針の全文と予算の詳細は、市ホームページからご覧いただけます。(予算と主要事業の記事は8～11頁)

▲施政方針に望む中田市長

本市は本年度、合併後10年という節目を迎えます。また新庁舎の完成による分庁舎廃止や市民交流センター開設など行政の仕組みも大きな転換期となるため、市民サービスの提供に万全を期すとともに、若人の広場公園や食の拠点施設をはじめとする大型公共プロジェクトを着実に進め、防災・減災対策と併せて、国、県とも協調しながら備えてまいります。行政運営は、施策を着実に形にし、積み上げていくものです。本年は、南あわじ市が更に成長・進化するため「敬天愛人(注1)」の精神で「飛躍する南あわじ」の実現に取り組んでまいります。

基盤となる安全・安心な「ふるさと」の推進

飛躍のためには、基盤となる安全・安心な「ふるさと」が必要です。発生が予想されている南海トラフ巨大地震をはじめとする地震・津波対策を積極的に進めます。兵庫県が策定した津波防災インフラ整備5箇年計画では、福良港、阿万港、沼島漁港などが重点整備地区に指定されており、県と連携して取り組んでまいります。また老朽化したインフラの改善や長寿命化、安全対策や改良を実施します。来年は阪神・淡路大震災から20年となります。子ども世代への「正しく恐れる」防災教育に力を入れてまいります。本市の高齢化率が29%を超えました。高齢者福祉や少子化対策についても喫緊の課題であります。また消費税率引上げにともなう国の施策に対しても適切に対応

市の主要産業の活性化

飛躍のためには、市の主要産業が元気でなければなりません。大学農学部の開設、企業誘致やあわじ島まるごと食の拠点施設の整備、副市長2人体制など未来への基盤づくりを進めてまいります。生産者や生産者団体等と強固な連携、協働を図り、国や県の支援も得ながら農業を活性化させるとともに、魅力ある「ふるさと資源」を最大限に活かして淡路島ならではの新鮮な食を提供する食の拠点施設を着実に完成させます。また若人の広場公園との運動により交流人口の増大に結び付けます。

吉備国際大学地域創成農学部の教員、学生による地域に密着した活動を拡大させるとともに、他大学、民間、団体組織をも巻き込んだ新たな仕組み作り挑戦します。瓦産業についても、淡路瓦の知名度向上と販売促進やブランド化の展開を支援してまいります。

持続可能な行財政基盤の構築

飛躍のためには、安定した行財政基盤が必要です。人口減少・少子高齢社会を迎え、伸びていく社会保障費に対応するため、国では消費税率引き上げを中心とした社会保

障・税・体改革を取りまとめ「年金・医療・介護・子育て、全世代対応型の社会保障」の構築をめざしております。本市においても市民の皆様のご協力により行財政改革大綱に基づく各種計画を実行してまいります。その結果、総人件費や公債費の削減などによる行財政基盤の安定化が進み財政指標も改善してまいりました。今後も油断することなく、中長期的視野に立った行財政の基盤づくりを進めます。庁舎一本化による行政組織の更なるスリム化を進めるとともに、市内21箇所に設置する市民交流センターを核に、自立と共生を目的とした市民主導型のまちづくりを支援してまいります。

子育て・教育環境整備への取り組み

飛躍のためには、将来世代への投資が必須です。教育環境の整備については、耐震化や大規模改修などを進めてまいりましたが、更なる改修や修繕、社会変化に即応した教育環境の充実に取り組むとともに、小学生の外国語活動授業の充実など学力向上を支援します。また小中学生が淡路人形浄瑠璃への関心を高め視野を拡げることができるよう積極的な支援を行います。生涯学習の拠点となる三原公民館の改修を行い、社会教育施設の再編計画に基づき適切に運用します。子育て環境の支援を継続するとともに、子ども・子育てニーズを把握し今後の施策に生かしてまいります。

(注1) 常に公明正大。謙虚な心で仕事にあたり、天を敬い、人を愛し、仕事を愛し、会社(市役所)を愛し、国(市民)を愛する心。